



樹妙だより

No.208 2024/2.3



慈 悲 喜 捨

2月は本格的な冬の寒さが到来します。そのため、和名の「如月（きさらぎ）」は、更に重ねて服を着る「衣更着（きぬさらぎ）」から来ているという説があります。英語で2月を「2th Month」といわず「February」と呼ぶように、日本では、古来から各月を季節感のある言葉で表していました。そして、陽暦の採用によって各月が数字で表されるようになっても、当時の呼び方が親しまれ、如月も2月の月名として知られています。

また、2月には、初花月（はつはなづき）という別名があります。「初花」は、年が明けて最初に咲く梅の花のことで、旧暦の2月は新暦の3月頃で、梅の花が咲く時期であることから「初花月」と呼ばれるようになったということです。

2月は、春を遠く感じるような日が続きますが、本校の樹妙に次のような法語があります。「樹木のえらいのは冬です 厳しい風雪に耐えてじっと黙っているからです しかし、樹木にはその冬が最も楽しいようです やがて来る春の夢を

胸一杯に抱いているからです」というものです。この法語を、人生に置き換えて考えてみると、私たちは、生きていく中で厳しい状況に遭遇することがあります。忍耐が限界になると心身のバランスが崩れ、自分自身を見失うようなことさえあります。しかし、そういう時をどのように過ごしていくのかということが後に重要になります。なぜならば、経験を通じた学びは、その後の支えとなるからです。苦しい時は、身近な人たちと手を取り合い、物事を前向きに捉えて来たるべき時に備えることが大切です。そのようにして培った忍耐力は、逆境にあっても落ち着いて物事に対処できる強い心となり、困難な状況に遭遇しても諦めずに助け合いながら目標を達成しようとする力になります。

季節の節目に思うことは、古来の人々の季節に対する感受性であり、趣の深さです。私たちも、次の季節に向けて今を整えるようにしましょう。

教頭 金安 伸一



樹徳高等学校長
野口 秀樹

若い頃の私は朝寝坊で、早起きするのが辛かったのですが、不思議ですね、今は早起きチャンピオン、今朝も3時半頃から起きたくてウズウズしてしまいました。

「朝のわずかな時間は 午後の数万時間に匹敵する」

これは 西洋の格言なのだそうです。

「早起きは三文の徳」

こちらは日本の諺、日本人は表現が控えめです。

どちらも朝の重要性、朝には宝物が沢山詰まっていることを表現しているのです。

こんな言葉もあります。「朝を制する者は一日を制する」

私は朝型派の人間ですから朝の素晴らしさを十分に理解しております。

早起きを始めると自分の習慣が変わってくるのを感じます。

「習慣は第2の天性」という言葉があります。習慣とは何なのでしょう。

米国デューク大学の学者が2006年に発表した論文によると、毎日人の行動の40%以上が、その場の決定ではなく、習慣だといえます。

また心理学者たちの調査によると、私たちの行動の90%は「習慣的に」行われているそうです。確かに私たちは習慣的に生きているからこそ、多くのことを迅速に能率よく行える。そして1つ1つの小さなことに煩わされることなく、大切なことに十分な注意と力を注ぐことができるのであります。

私にも自分の生き方を変えていきたい時期がありました。そこで無意識に行っている習慣を変えてみました。

まず初めに意識して起床時間を変えることにしました。

新しい行動パターンや習慣を身につけるのに必要な日数は、わずか21日。同じ行動を繰り返すことで無意識にできるようになる。当時からそんな事が言われておりました。それを信じたのです。

そして私は毎日毎日、「早起きが好きだ、

朝が大好き、朝は最高」と早起きの効用を唱えました。いつの間にか本当に朝大好き人間になってしまったのです。30年以上この気持ちが変わっていません。

それから早起きがその他の習慣をドンドン変えていくことになったのです。最たるものとして、やめられなかった喫煙習慣までやめることが出来ました。今でも欠点だらけの人間ですが、人間性もかつてよりは数段良くなっていると思います。今では「習慣を変えると人生が変わる」と真剣に思っています。

アメリカの政治家その他沢山の肩書きを持つベンジャミン・フランクリンが「習慣」についてこんな言葉を残しております。味わってみてください。

私はいつもあなたのそばにいる
いちばん頼りになる助け手でもあれば、
大変な厄介者でもある
後押しもすれば 足を引っ張ってしくじらせもする
私はあなたの命令次第
半分だけやって任せてくれれば
私は残りは手早く正確に片づけてしまう
私の扱いは簡単
念押しは不要
何をしたいか見せてくれれば 少しの練習であとは自動的だ
私はすべての偉大な人物の僕（しもべ）
そして何たることか すべてのしくじりの主人
偉大な人が偉大になったのは私のため
しくじった人がしくじったのも私のため
私は機械ではないが、機械のような正確さと人の知性によって動く
私を動かして利益を得ることもできれば破壊を招くこともできる
私にはそれは関係ない
私を利用して訓練し、しっかり働かせなさい
そうすればこの世を足もとに従えることさえできる
しかし、甘やかせばあなたを滅ぼす
私はだれか
私は習慣

IACの歳末助け合い募金 140万円を超える!!!

『歳末助け合い
募金活動を終えて』

令和5年12月1日から24日までの間、私たち樹徳高等学校インターアクトクラブは、歳末助け合い募金活動を行いました。

募金活動は、校内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店、境野店さんの前で行いました。約1ヶ月にわたる活動で、お預かりした浄財の総額は、1,418,318円となりました。お陰さまで、多くの方々から浄財をお預かりすることができました。

ご支援いただきました方々の中には、毎年私たちが活動していることを覚えてくださり、1年間蓄えた多額の浄財を募金して下さる方もいらっしゃいました。

私たちは、今年度の歳末助け合い募金活動を担

当していますが、これは過去の先輩方の活動が街の方々の記憶に残り、ご支援いただいたものと感じ、改めて多くの方々を支えられている活動であると感じました。

なお、お預かりいたしました浄財は昨年12月25日に、全額、桐生市社会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からお寄せいただいたご支援が、それを必要とされる方々に届けられることで、地域の福祉の一層の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただいた皆様のご支援に、改めて感謝申し上げますと共に、今後ともこの活動へのご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

IAC会長

3年K組 小堀 詩音



新年の各行事 今年も華ひらく。

□校内書き初め大会

1月11日、校内書き初め大会が盛大に開催されました。「書き初め」を通じて、健全な心身と豊かな心情を養い、併せて伝統文化への理解を深める新年恒例行事です。

□大学入学共通テスト出陣式

新年を迎えた1月15日、大学入学共通テストを前に、毎年恒例の出陣式が行われました。三年間培ってきた学びの全てを胸に、いざ出陣です。



特賞 2K 高橋 希帆
優秀賞 2K 福田 悠翔



できないをできるに

「分からないときは、分かるようにするんだよ」。中学生の時、数学の先生がよく仰っていました。

分からない問題に出合ったときに、分からないからと諦めないで、自分が分かっていることから考えていくと、いつかその問題が分かる（解ける）ようになる。そういう意味だったと思います。他に教わったことはほとんど忘れてしまいましたが、その言葉は今でも鮮明に覚えています。中学卒業後も「分からないことは分かるようにする」ことを意識してきました。

自分自身も教師となり、さまざまな子どもと接して気付いたことは、難しい問題に出合ったとき「分からないから解けない」と、すぐに諦める子が多いことです。そして、周りの大人を見渡すと「自分には分からないから、できない」と諦める人が多いことにも気付きました。

人は、何か新しいことに出合ったときに、それまでの経験と照らし合わせて、できるかできないかを判断します。

子どもは経験が少ない分、できるかできないか分からないので、とりあえず挑戦してみます。何回かやってみてできないと分かると、その時点で「自分にはこれはできない」と判断します。

しかし、大人は子どもと比較して多くの経験をしているため、すぐに、できるできないを判断することができます。これは一見、効率的に見えますが、自分にはできないと判断すると挑戦すらしめない、とも言えます。特に、デジタル技術のこととなると、苦手意識を持っている大人の拒否感はずいぶん子どもと比較になりません。

アップルの最高経営責任者（CEO）から「世界最高齢のアプリ開発者」と呼ばれている若宮正子さん（1935年生まれ 88歳）は、81歳で初めてiPhoneのアプリを開発しました。若宮さんは若い時からプログラミングを学んでいたわけではありません。銀行員として働き、初めてパソコンを買ったのは定年退職前の58歳の時。それから独学でエクセルの使い方などを取得し、プログラミングにも挑戦しています。エクセルの使い方を取った際には、紙袋やしおり、ブックカバーなどのデザインをエクセルの罫線機能とセルの塗りつぶし機能を用いて作成する「エクセルアート」を考案し、マイクロソフトから「エクセルの新しい使い方」という評価を受けています。

よく「自分は、年だから分からないし、できない」と言う方がいますが、若宮さんを見ていると年齢は関係ないと思うのです。その人の気の持ちよう、できるかできないかの判断が変わるのではないのでしょうか。

できないと思っていると、できない理由を考えるようになります。「年だから」「頭が悪いから」「時間がないから」などです。できないと思っている方が楽な部分もありますが、できることが増えていくと逆に楽ができることもあります。だから、

できない理由ではなくて、できる理由を考えてみてはいかがでしょうか。「これができると面白い。」「これができると作業が楽になる。」「これができるようになると、他のできる人との輪に入れる。」などです。できるようになるためには、苦労もあると思いますが、前向きに考えているといつの間にかできるようになっていた、ということもあるのではないのでしょうか。

子どもの話に戻すと、成長していく過程で「もしかしたら、あのときできなかったけど、できるようになっているかもしれない。」と思って、再挑戦することがあります。更に、1度で駄目だったとしても、2回、3回と挑戦してできるようになることもあります。何かに挑めば、失敗することも多くあります。それでも、挑戦しないのはもったいないです。

「分からないときは、分かるようにする」ことや「できないときは、できるようにする」こと、つまり、とにかく挑戦することを諦めないで欲しいと思います。同時に、失敗も許される社会であってほしいとも願っています。そうなれば、誰もが失敗を恐れずもっと前向きに生きられるのではないのでしょうか。

（編集子）

二月の法語

自分の心のハンドルを

握っているのは 自分で

三月の法語

やってみなわからしまへんで

やってみなはれ

鳥井信次郎

一貫校 中学校 だより

◆部活動での活躍

樹徳中学校 3年 陸上競技部 大豆生田 花音 (おおまみうだかのん) さん

2023年10月20日(金)に愛媛県で開催された陸上競技の全国大会「JOC ジュニアオリンピックカップ第54回U16陸上競技大会」において、樹徳中学校3年の大豆生田花音さんが女子棒高跳びに出場し、3m70cmを跳んで優勝、見事に日本一を勝ち取ることができました。この結果を勝ち取ることができたのも、保護者の皆様、学校の理事長と校長をはじめとする樹徳の先生方、後援会の皆様、中体連の先生方、練習施設の皆様、地域の皆様、仲間、応援したり気にかけてくれたりする全ての皆様など、ひとえに皆々様の、ご尽力のおかげでございました。本当に、ありがとうございました。

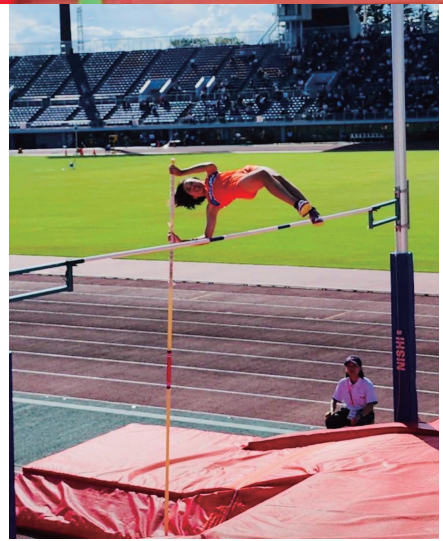
今回の大会は日本陸上競技連盟が主催する大会で、U(アンダー)16という年齢区分に該当し、各県予選を勝ち抜いた県代表1名が出場できる大会です。U16とは、中学1年生から高校1年生の早生まれまでに該当する人になります。大豆生田さんの2023年シーズンは「関東と全国大会で優勝」する目標を掲げていましたが、関東大会では惜しくも2番という結果でした。そこから、優勝するためには何が足らなかったのか反省を繰り返して、全国大会では必ず雪辱を果たせるように強い想いで練習するだけでなく、日常生活から何事にも意識を高くもって行動し、全国大会直前の大会では3m72cmのランキングトップの記録を跳ぶことに成功します。自信をもって挑んだ大会で、最大の目標を達成した瞬間は感無量で、大豆生田さんは日本一の笑顔をしていました。

大豆生田さんは、慢心することなく常に目標を高く設定し、自らの可能性を信じて前向きに努力を継続することができます。中学に入学して初めて陸上競技と出会い、棒高跳びの種目を始めて2年という短い期間でしたが、日本一まで上り詰めることができたのは、そのような姿勢を大切に取り組めたからこそその結果だったのではないのでしょうか。

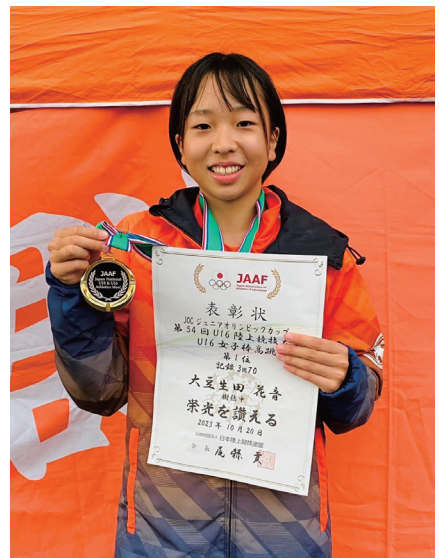
心技体の全てにおいて、まだまだ伸びしろが多く「世界選手権やオリンピック」の日本代表も夢ではありません。本人は、「中学生のうちには3m91cm以上の日本中学新記録を目指して、高校生でもインターハイなどの全国大会で優勝できるようにしたい。」と、目標を掲げております。

引き続き、選手共々、競技成績はもちろんのこと、競技を通して感謝の気持ちや謙虚な気持ちなどの人間力を高めて、応援してくださっている全ての皆々様に少しでも恩返しできるように精進していきたいです。

本当に、ありがとうございました。引き続き、何卒よろしくお願い致します。



競技の様子



ジュニアオリンピック

樹徳中学校 陸上競技部顧問 田中 充

幼稚園だより

◆新年度に向けて締めくくいを

二十四節気の最後となる大寒を過ぎると、いよいよ一年の始まりである立春を迎えます。一年の中で最も寒さが厳しい時期である大寒から立春に移ると、少しずつ春に向かい始め、幼稚園の周りの樹木や草花から春の息吹を感じられるようになってきます。

今年の干支は辰年。3学期の始業式で、子どもたちに「辰年は、新しいことを始めるとうまくいく、これまで準備してきたことが形になるといった縁起の良い年だ」と言われています。4月から小学生になる年長組の皆さん、また学年が一つ上がるその他の皆さん、新しいことを始めるのに良い年です。4月から始まる新しいことに向けてしっかりと準備しながら、一日一日を大切に過ごしていきましょう」と伝えました。我々教職員は、子どもたちのさらなる成長に向けて日々の教育活動を大事にし、今年度をしっかりと締めくくられるよう努めていきたいと思えます。

◆幼児期の読み聞かせの大切さ

「子どもが小さいときに読み聞かせをしてあげることが大切だよ」とよく耳にします。孫から「本を読んで」とねだられるとニコニコして読んであげます。しかし、世間では子どもから大人まで本離れが加速しているのが現状です。幼児でさえも、絵本よりYouTubeを好む時代です。そこで、「幼児期の読み聞かせ」は大切だということを紹介しようと、一つの調査結果を取り上げてみました。

この調査は、全国的に有名な某教育総合研究所が、2012年から10年間、幼児期から中学生までの子どもの発達と保護者の関わりとの関連性についての調査したものです。調査の特徴は、年少児から中学1年生までの10年間、同じ親子に対して、可能な限り同じ項目を設定して調査を行い、子どもの成長・発達と家庭での保護者の関わりの変化を捉えているところです。

調査によると、幼児期において保護者が子ども



に読み聞かせをする頻度が高いほど、小学校低学年の時期に子どもの「ひとり読み」の頻度が高くなるということが分かったそうです。そして、さらにそれが小学校高学年での「ひとり読み」の頻度の高さを支え、中学校1年時での「言葉のスキル」や自分のことばで順序を立てて相手にわかるように話せる「論理性」の獲得といった言語発達にも影響を与えていたということです。また、幼児期の読み聞かせの際に、保護者が内容について質問したり、子どもの質問に答えたりする双方向のやり取りに時間をかけるほど、小学校低学年の時期に保護者と子どもで本の内容について話し合ったり、感想を述べ合ったりするという読書体験を共有することが多くなり、それが小学校高学年の子どものひとり読みの頻度につながっていることも明らかになっています。やはり、親子での双方向のやり取りが大切だということが分かります。YouTubeは単方向で、映像から流れてくる情報を観るだけのものに過ぎません。

幼児期でも子どもが一人でひらがなを読めるようになると、読み聞かせをやめてしまうケースが増えてくるようですが、少し惜しい気がします。子どもにとって、一緒に面白いと感じてくれる人と読む方が読書に対する意欲も高まります。ですから、小学校低学年くらいまでは読み聞かせを続けてほしいですし、本の感想を述べ合うといった読書体験の共有につなげるとさらによいでしょう。幼稚園でも、各教室において読み聞かせの時間を大事にしていきたいと考えます。

園長 佐野 悦生



入園児募集中

◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名

◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 TEL：0277-53-5571

住所：桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder/>

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	木	校内安全点検 スキー教室費用納入日 2年生ベネッセ大学(～3日)		安全点検日 体育・文字(年中)
2	金	(推薦・一般入学追試験合格発表日)		
3	土		節分会	大節分会(大善寺) ※通常登園日
4	日			
5	月	授業料納入日(3年2・3月分) 第3回諸費納入日 一斉指導(3年生家庭学習、1年生スキー教室) 3年担任宛成績提出(13:00)		大節分会の代休日 預かり保育
6	火	3年生家庭学習開始 教務宛成績提出(13:00) マイトリー基金抛金日 後援会役員会④		新入園児生活説明会(～9日) 読み聞かせ
7	水	探究・LHR 県校長会		英語・文字(年長)
8	木		中学1・2年 スキー教室(～9日)	体育・文字(年中)
9	金	卒業褒賞関係候補者選考会議 私学保護者連合会理事会(農二) 漢字検定③ 第2回関東高P連役員会(千葉県)		涅槃会(大善寺) 保育料納入日
10	土			開園日(預かり保育)
11	日	建国記念日		
12	月	振替休日		
13	火	1年生スキー教室①(～14日)		ボール投げ教室⑨測定(年中・年長) 線(年少)
14	水	探究・LHR		お茶のお稽古⑦(年長) 英語
15	木	涅槃会 1年生スキー教室②(～16日) 2学年探究活動報告会		体育・文字(年中)
16	金			お誕生会(2・3月生まれ)
17	土	数学検定②	第2回入学説明会 数学検定	開園日(預かり保育)
18	日	英語検定③二次		
19	月	朝礼 教科主任会⑨ 卒業成績会議(15:00～)		たけ組保育参観 リズム・線(年少)
20	火		中学2年 立志式	さくら組保育参観 読み聞かせ
21	水	探究・LHR		もも組保育参観 英語・文字(年長)
22	木	制服アフターサービス		ひよこ・すみれ組保育参観 体育・文字(年中)
23	金	天皇誕生日		天皇誕生日
24	土			開園日(預かり保育)
25	日			
26	月	学年主任会⑩		リズム・線(年少)
27	火			
28	水	探究・LHR 卒業式会場作成 7時限大掃除		英語・文字(年長)
29	木	卒業式予行練習・予餞会 出欠統計提出		体育・文字(年中)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況により予定が変更されることがあります。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

樹妙会役員会（3月の予定）

3月(智慧)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	金	卒業式 卒業式後片づけ(午後) 校内安全点検		安全点検日
2	土			開園日(預かり保育)
3	日	雛祭り		
4	月	学年末試験(~8日)	中学 学年末総まとめテスト(~6日) 高校 学年末テスト(~7日)	リズム・線(年少)
5	火	授業料納入日 マイトリー基金抛金日		読み聞かせ・文字(年長)
6	水	第2回入学手続き 制服アフターサービス		お茶のお稽古発表会(年長親子)
7	木			体育・文字(年中)
8	金	中高協会定例会(農二)		お別れ遠足 保育料納入日
9	土			開園日(預かり保育)
10	日			
11	月	写真撮影(1・2年生) 地震防護・防火避難訓練② 運営委員会⑥		リズム・線(年少)
12	火	市街地清掃(通算97回目) 日私中高連常任理事会/評議員会	中学 保護者会 高校 市街地清掃	文字(年中)
13	水	探究・LHR(全国選抜出場壮行会) 探究優秀研究発表会		英語・文字(年長)
14	木	視聴覚教室 大学合格体験報告会	視聴覚教室	お別れ会練習
15	金	担任宛成績提出(13:00) 第3回法人役員会(13:30~)		お別れ会
16	土			開園日(預かり保育)
17	日			
18	月	教務宛成績提出(13:00) 教科主任会⑩		
19	火			卒園式予行練習 謝恩会準備 読み聞かせ
20	水	春分の日		
21	木	成績会議 出欠統計提出 三学期出欠締切		第71回卒園式・謝恩会
22	金	終業式(大掃除・学年別一斉指導)	終業式 中学3年 中学校卒業証書伝達式	卒園児預かり保育①
23	土		中学・高校補習(~26日)	開園日(預かり保育)
24	日			
25	月	生徒春休み 奨学生審査会③ 部活動強化合宿開始		卒業児預かり保育②
26	火	学籍整理・年度末事務 運営委員会⑦9:30~		令和5年度修了式 卒業児預かり保育③
27	水	学籍整理・年度末事務 学年主任会議9:00~ 教科主任会議10:00~ 新入生進学クラスオリエンテーション13:00~		春季休業日 預かり保育① 卒業児預かり保育④
28	木	新採用者事前研修 学籍整理・年度末事務		春季休業日 預かり保育② 卒業児預かり保育⑤
29	金	学籍整理・年度末事務		春季休業日 預かり保育③ 卒業児預かり保育⑥
30	土			開園日(預かり保育)
31	日			



樹徳高等学校

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

樹徳中学校

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

樹徳幼稚園

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく